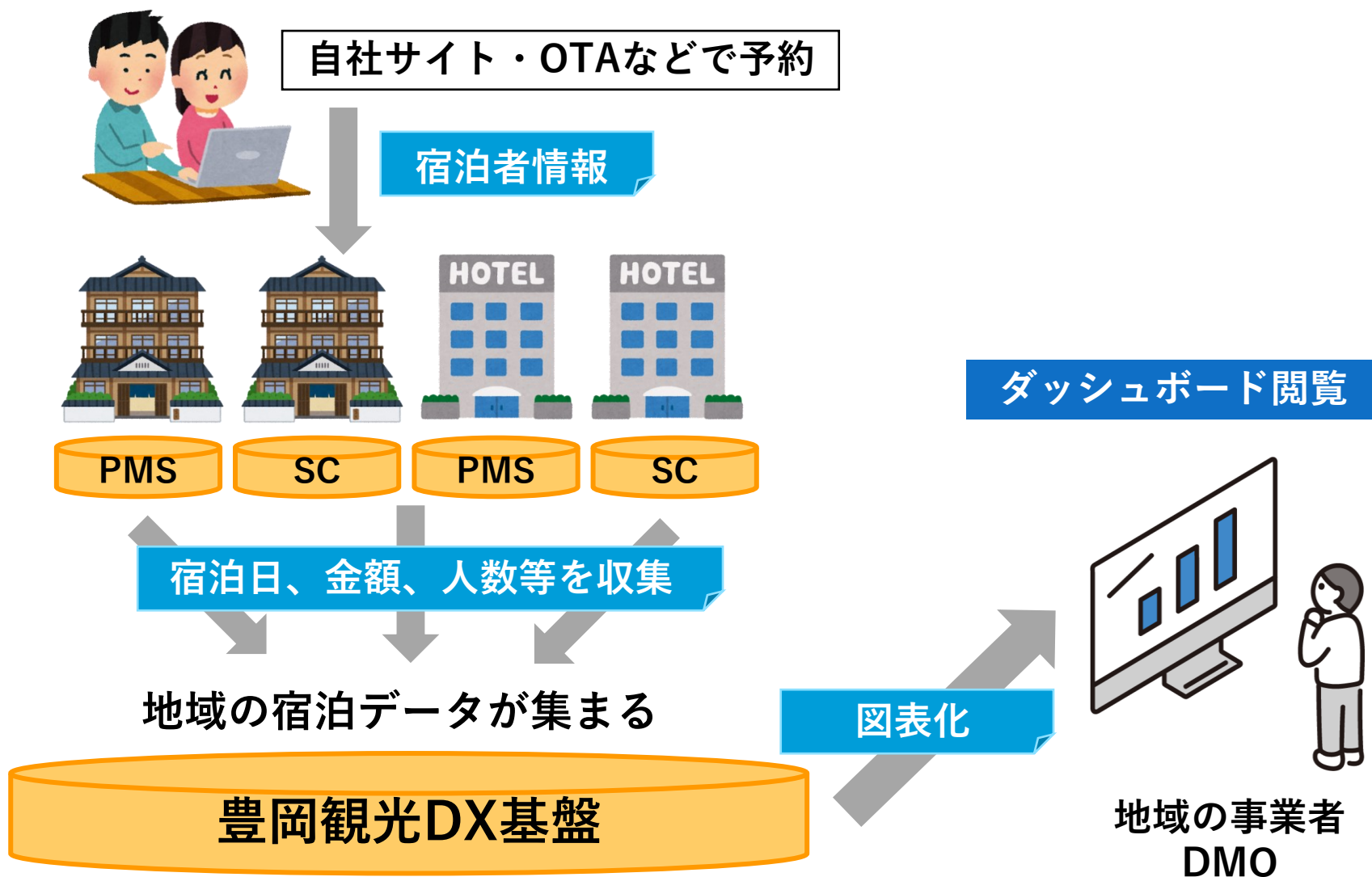


地域全体の宿泊データをリアルに分析・活用



観光DX基盤がない時



FAX

旅館組合

豊岡市

DMO

3カ月に1回
宿泊者数の実績データを把握

過去データは変えられない

観光DX基盤がある時



自動収集

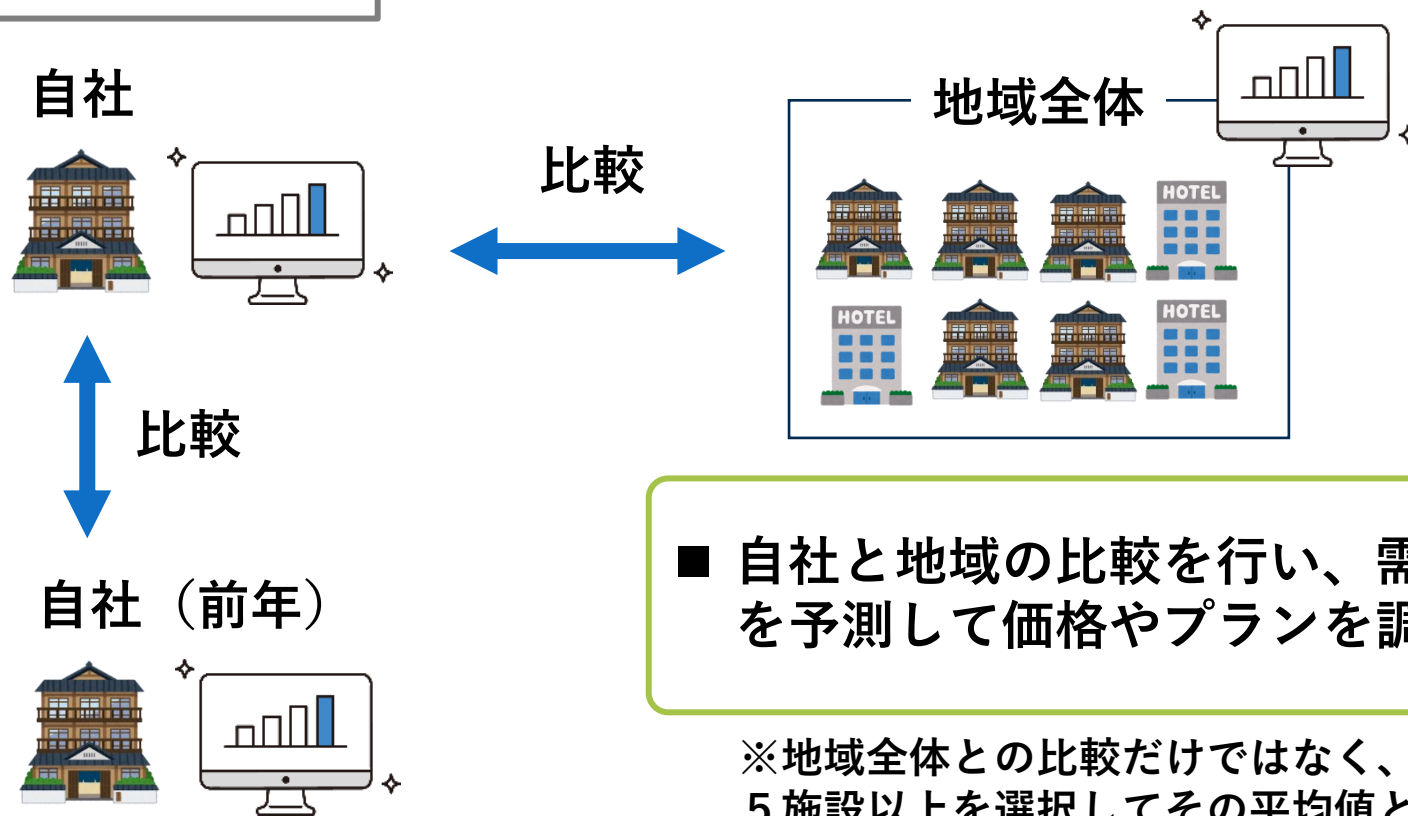
豊岡観光DX基盤

DMO

即座に
宿泊者数・金額・稼働率の
オンハンド及び実績データを把握

将来データは変えられる！

観光DX基盤が**ある**時



- 昨年と比較して予約増減がある日を把握して早めの対策

- 自社と地域の比較を行い、需要を予測して価格やプランを調整

※地域全体との比較だけではなく、5施設以上を選択してその平均値との比較が可能

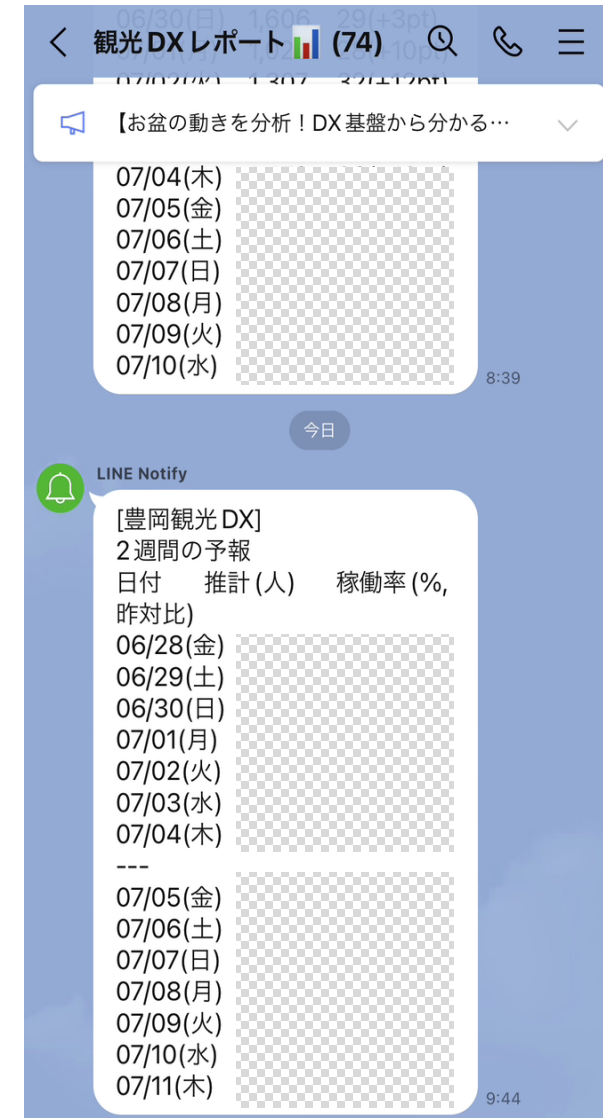
■目的

稼働率を手元のデバイスに送ることで、手軽にデータをチェックする機会を増やす。ダッシュボードを見るきっかけを増やし、データ活用の意識を高める。

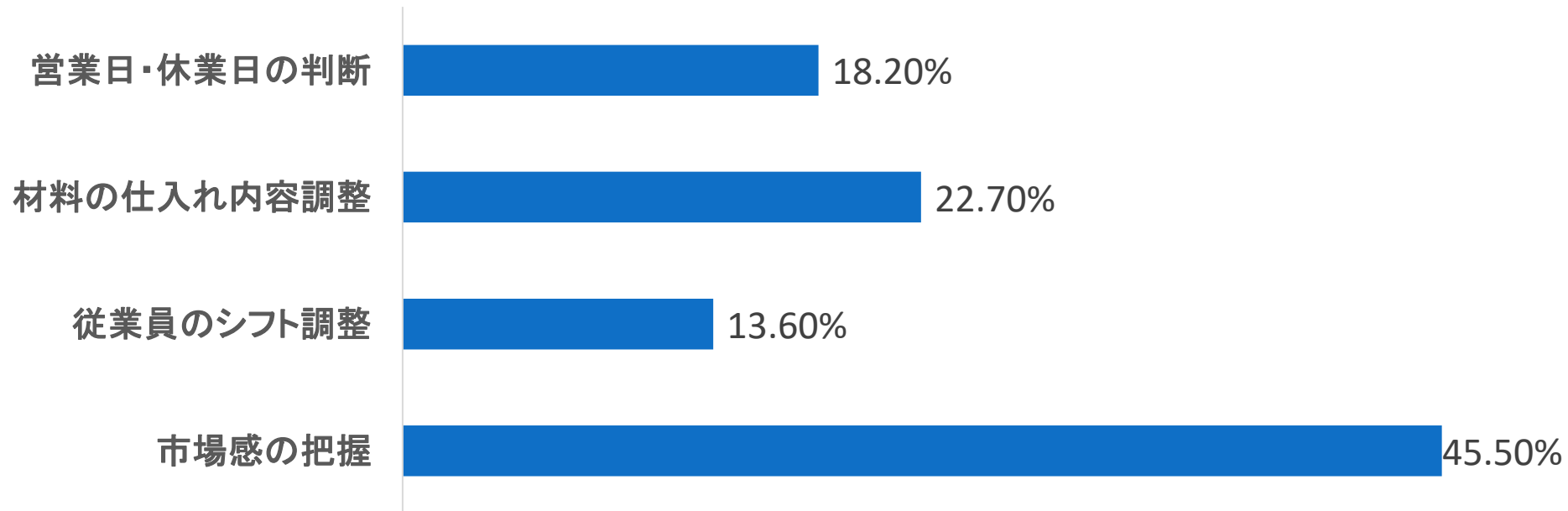
■内容

2週間先までの日毎の稼働率（昨年比）、宿泊+日帰りの入込人数予測を平日毎日送信

- 現在、参加施設数64軒
- エリア、業種の幅を広げ展開



グループLINE利用者へのアンケート調査結果



- ・ 旅館①「レポートとLINEを合わせて活用するとよい」
- ・ 物産店①「LINEは助かる。賞味期限が近いお土産の仕入れの参考にしている。」
- ・ 物産店②「稼働率LINEと実際の人通りを見てみると、肌感としても合っていると感ずるので、経営に活かせるのではないか。」
- ・ 物産店③「次週のシフト体制の判断材料にしている。」
- ・ 観光協会「混雑時の駐車場警備員の配置計画に役立てている。」